

さわやかハイキング山行報告書

文・井上弘二郎 写真・後藤、勝又、掛橋

山行番 NO. 1574
日時 2013. 12. 8 (日) 曇りのち晴
山域 沼津ALPS (駿豆線・原木駅～鷲頭山～香貫山～沼津駅)
標高差 上り累計約1200m
参加者 後藤、浜道、掛橋将 (一般)、掛橋智、勝又陽、勝又薫、井上、室伏、長谷、伊藤、長井、峰田、世古、小松、羽鳥裕子 (一般)、服部=忘年会のみ参加

さわやかハイク今年最後の山は、沼津アルプスとなった。手強い。原木駅から沼津駅までのパーフェクト沼津アルプスは2007年に小学4年生の長女真理子と参加して以来の約6年ぶり2度目となる。

今回の私のテーマは「気持ちを最後まで持続させること」だった。前回は香貫山の手前で、長時間の行動に疲れ、歩くことが嫌になってしまった。そのための対策準備は地図を見て地形を把握することとした。2万5千図をコピーし、尾根筋を赤色でマークし現在地がわかりやすくした。これにより、先々に現れる地形を予想し心の準備ができるので、心は折れないだろう。

御殿場線・なめり駅発5:48—下土狩駅発5:50—三島駅着6:15 (230円)。夜はまだ明けず、星が見える。なめり駅では伊藤さんが電車発車ぎりぎりセーフで滑り込んだ。三島駅では、峰田さんの姿がなかったが、電車は待ってくれないので出発した。駿豆線発6:26—原木駅着6:43 (270円)—発7:00。原木駅を降り、出発前の打合せ。初めて参加するのは、掛橋さんの旦那さんと羽鳥さん。私は本日のトップと記録を仰せつかった。住宅地を15分ほど歩き、塗装工事中の石堂橋を渡る。工事用の足場で作られた屋根がまるでマディソン郡の橋のようだった。

沼津アルプスの東の端の登り口は急登で始まる。初めての人は面食らうが、あらかじめ地図を見ていたので心の準備はOKだ。空は曇り、寒い。Tシャツとフリースとカッパを着ている。

第1のピーク128m。急な坂を上り、急な坂を下る。8:00 大嵐山191m (日守山公園) への上りがとても厳しいことは、地図の等高線の間隔が狭いことから承知済み。とはいえ、しんどい。同じように、急斜面を上り下る。ここから大平山までは約2kmのアップダウンを何度も繰り返す。長い梯子が2か所設置されていた。変化に富み、わくわくするアドベンチャーを楽しめる。

9:00 おや?ふと急斜面を見上げると、そこには峰田さんが立っていて、こちらを見ていた。遅刻したと思っていたが、なんと早出だった。駿豆線を1本前に乗り、先に出発しゆっくり歩いたそうである。早出の合流は前代未聞?

9:20 大平山356m。ピークを目指して上るたびに大汗をかく。服装はすでにTシャツ1枚だ。ここでようやく全体の3分の1になる。多比から入った県連盟「清水やまびこのHC」と出会う。男性1人 (会長・内藤さん)、女性5人のにぎやかなグルー



石堂橋



日守山



梯子下り



鷲頭山頂上



大平山



バックは鷲頭山

プだ。

9:40 大平山の下りで長井さんの足がつってしまったため、多比へ下りることになった。大平山から先は一般ルートになるため道も広く歩きやすいため、ついスピードがでてしまったかもしれない。申し訳ありませんでした。時折、左手に三津港が見え心を和ませてくれる。

10:20 鷲頭山 392m。本日の最高峰。景色を楽しみ、おなかもすいたのでパンを食べた。チョコレートなどお菓子が配られ、ありがたい。ここからは急な下りが多い。ロープを掴み、段差の大きい階段を注意しながら下りた。落ち葉が多く、その下の状況が見えないので滑らないよう慎重に足を置く。徳倉山手前の 282m ピークが、次の目標の徳倉山に見えるが、だまされてはいけない。まず 282m を上り下り、その次が昼ごはんの徳倉山だ。

11:40 戸倉山 256m。戸倉山の上りは容赦ない直登だ。ぐっところえて 1 歩 1 歩上る。頂上に着くやいなや真っ先にザックの底からビールを取り出し、渴いたのどに流し込んだ。汗をかき、体が熱く、気持ち達成感に満たされたこの瞬間に飲むビールは最高にうまい条件をすべて満たしている。これぞ登山ならではの楽しみだ。日常生活では得られない。下界でスポーツジムに行ってランニングマシンを終わったところでプッシュはできない。ましてや自然の中で、高所からの景色を見ながら飲むビールは、たとえ第 3 のお酒でも、この上なくうまいからたまらない。(飲まない人には全くどうでも良いことではないです。)

各自持ってきた鍋焼きうどんを順次火にかけ作っていく。風もなく、ちょうど良い。熱いうどんはこの時期最高だ。また、持ち寄ったさまざまな食材が輪になって座っている仲間の中をぐるぐる回る。柿に干し柿、丹波の黒豆の甘納豆、漬物(大根、キュウリ、セロリ)、ネギぬた、焼き鳥にホルモン。持ってきていただいた方、ご馳走様でした。

12:50 後半戦開始。残りは 2 山、横山と香貫山だ。ここから先の目標地は忘年会の生ビールだ。ぱっぱと片付けて飲みましょう。が、まだ緩急ある上りと下りの連続が訪れる。生ビールが待っていることを心のよりどころにして頑張ることができる。2 時から水は飲まないようにした。すべては最高のビールのために。

各地からの団体とすれ違う。柏市 10 人と浜松 34 人のグループ。10 人の方は鷲頭の手前で御用邸近くに下り忘年会の予定。34 人の方は若い人もたくさんいた。前回原木駅からスタートし、今回は沼津から始めこれで完全踏破と言っていた。我々は 1 日で成し遂げるのだ。たくさんの登山者とであったが、私たちの他、トレーニングの 1 名以外は皆、沼津アルプスの一部のみ歩いている。

13:27 横山 183m。ワイシャツを着た男性が道を聞いてきた。今から徳倉山まで行き、今日中に大阪に帰るとのこと。早めに下山しないと帰りの電車に間に合いませんよ。

14:20 香貫山 193m。舗装道路を歩いたり、公園内の道を歩いて頂上に達する。展望台へ上り沼津の町を見下ろす。遠く雲間から海に光がさし、オーロラのように広が



徳倉山頂上宴会



清水やまびこHC、お元気オバサマご一行



っている。(オーロラは浜道さんの表現です。)

景色を満喫し、さあ生ビールまであとわずかというところで、山では迷わない後藤さんが、舗装道路を前にして迷い始めた。地図を見てもわからない。結局、たまたまいた若い衆に聞いて近道がわかった。

どんどん下りていき、舗装道路に出てまた登山道に入るときに、4人いないことに気づいた。しばらく待っても来ないので電話すると別のところから下りてしまったとのこと。「黒瀬の登山口に下りないと、正規のルートから外れたことになり「完全」

制覇といえないから残念だ。」と、自分たちより先に下りられてしまって悔しさを隠せない後藤さんでした。

沼津の町中をぞろぞろと歩くと、服装がまわりと違うせいかじろじろと見られる。沼津駅で羽鳥さんと別れ、沼津駅北口「華の舞」へ向かう。3時45分に到着し店の前で行列を作って待った。4時の開店と同時になだれ込み、待ってました生の時間。幹事の素晴らしい注文と交渉によって2時間の飲み放題で4時間盛り上がることができました。恐るべしさわやかハイク。山登りも飲み会も名前の通りさわやか（ハード）です。4時間たったころ、帰ってと言わんばかりに壁に描かれた富士山の絵の照明が消されたことに何人が気付いたのでしょうか。

山でも下界でも大いに盛り上がった素晴らしき1日でした。みなさん、来年も楽しくさわやかに山へ行きましょう。よいお年を。

以上



徳倉山頂上



沼津北口「華の舞」